



数年前に母校・弘前学院聖愛高校野球部が甲子園球場を沸かせ、幾度か懐かしい校歌をTVで聞くことになった私たち卒業生はただ驚いた記憶があります。創立 130 年の長い歴史を持つ女子校でしたが、21 世紀には共学となりました。野球部が母校のホームページを飾り、信じられない思いがしています。後輩に男子がいるなんて！この夏の

甲子園には県大会準決勝にまで進んだほど、男子の後輩達が目覚ましい活躍をしています！

校歌を歌う時、毎朝の礼拝で讃美歌を歌っていたせいか、最後に思わず「アーメン」と付け加えてしまうことが多く、苦笑した記憶があります。校歌の曲は付点四分音符と 8 分音符の連続で、軽快で明るく、弾むような感じですが。宮崎きみの作詞は勿論、津軽富士・岩木山頂に残雪の輝くさまをまず歌って、母校の拠って立つ神の愛を賛美しています。

♪ 残れる雪も白銀と 春に輝く岩木山 高さ空より垂れ給う 大御教えは 愛と慈悲 ♪

私はアメリカに行った時、教材用にキャンプ・ソングのテープを買いました。聞いていると、校歌とそっくりのメロディが流れてきて、びっくりしたのです。いろいろ調べてみると、これは「愛しのクレメンタイン」の元歌を作った Hunter S. Thompson の最も有名な曲 Annie Lisle (1857年作曲) が原曲だったようです。アニー・リールは多くのアメリカ人に愛好され、とうとう、コーネル大学のアンセム(校歌・学生歌)になり、今では多数の学校が各自の歌詞で、歌っています。きっと、コーネル大学出身の宣教師が母校で歌って下さったこの歌を、編曲し、校歌が誕生したのです。

母校の校歌 [校歌演奏のリクエスト\(MIDI ファイル 3KB\)](http://www.seiai.ed.jp/kouchou/kouka.html)

<http://www.seiai.ed.jp/kouchou/kouka.html>

コーネル大学のアンセム <https://www.youtube.com/watch?v=dIEcPTnqXG0>



先日、クラス会の折の写真を見せてもらいました。参加者全員が再び銀座教会前に並び、にこやかに微笑んで、熟女の貫禄を余すところなく映し出していました。友人の顔を見れば、すぐに記憶は 60 年前に飛び、お転婆娘、乙女、模範生、クラブ活動命、御令嬢などの昔のイメージが湧いてきます。それぞれが体をいたわりながら、家族を大切にしながら、さらに現役として仕事をこなしながら、活躍している姿を見る

のは嬉しいものです。教会の礼拝堂で、重篤の病床にいる友人、残念ながら遭難死されたクラスメート、病人の家族の世話をしておられる方々を覚えてお祈りを捧げました。共に祈りを捧げた後、お楽しみにカラオケに行きました。私たち卒業生は、讃美歌と共に育てられましたので、歌うことは大好きです。長年コーラスを続けている友人、教会で讃美歌を歌っている友人、学校で生徒の合唱指導をしていた友人、カラオケクラブで歌を楽しんでいる友人など、いまだに歌ってお



られます。皆さん、とてもお上手です。去年のクラス会で、「来年は持ち歌を用意しましょうね」と約束したはずです。これを私は守りました。津軽出身の民謡歌手



だった岸千恵子の「千恵っこ よされ」を、マイク片手に、歌って、踊って、走り回って、一人大フィーバー。淑女の皆様がたにも、望郷の念を呼び覚ましたようで、お慰みになりました。